



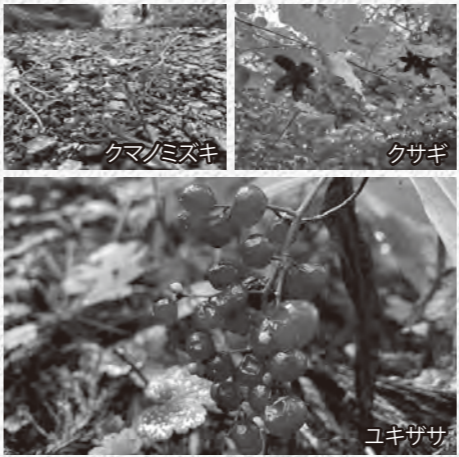
森林セラピー
通信
森のたより

(一社) 飯南町観光協会
☎76-9050

秋は赤い植物が多い？

秋に森を歩いていると、赤い実がやたら目につきます。一説では、動物に見つかりやすくする(食へてもらって、遠くへ運んでもらう)ためだそうです。今回は、秋の「赤」シリーズでお届けします。

まずは「ユキザサ」です。北方系の植物で、主に標高600メートル以上の場所に生息しています。「液果」と呼ばれる実は、みずみずしく、とてもキュートです。



お次は「クサギ」。その名の通り、葉に臭気があります。民間薬としても知られ、下痢・胃もたれ・高血圧などに効くそうです。また、染物の原料にもなり、綺麗な藍色が出ます。クサギも素敵な形をしています。最後に「森のサンゴ」と呼ばれる「クマノミズキ」。秋になると、赤く染まって愛らしいです。地面にも落ちていたりも。皆さんも秋の「赤」探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

「小田川コース」を快適に

「小田川コース」は、その名の通り小田川に沿ったコースで、川のせせらぎが心地いいのが特徴。でも、風雪にさらされやすいため、傷みの激しいコースでもあります。

今回は、狭くなった道幅を拡張したり、川側へウッドチップが流されないように、防止柵を設置したりしました。敷きたてのウッドチップは香りがよく、フカフカして歩きやすいので、ぜひ散策してみてください。



俳句

琴峯俳句会 十月の作品から

山深き暮し幾年柿吊す 安部 豊枝
みまかりし友の使ひか落し文 石田シヅカ
友呼んで虫の音を聞く幸せよ 垣内 良野
草むらに残る轍や虫の声 佐々木康子
鈴虫に一声かけて灯を消しぬ 田部智津子
廃校の廊下に響く虫の風 土池 博子
燕去ぬ最終便や今朝の風 朽木 豊子
鳴く虫に虫の応ふる闇の底 松平富美子
水澄むやマクロビオ出す定食屋 八嶋 敏江
溝蕎麦や光るころが水の道 山崎智恵美
存へて一人暮誌読む秋彼岸 八嶋 昭男

短歌

赤名短歌会 十月例会詠草

空青しふんわりふんと風任せ秋明菊のしなやかに咲き 星野 敦子
秋晴れの続く夕空ピンク色のいわし雲にしばし見とれる 門所 詠子
虫食ひの葉にも風情を持たらせてホトトギス咲く狭庭辺の秋 石田フクエ
秋の陽がそそぐ病院の待合室患者はなべて終始むくちに 本間 麗子
夢ならむ金婚迎えしその朝ごとにかいま見る夫の横顔 吉川 暎子
川沿いの桜紅葉に運速あり人それぞれの思いあるごとく 澤田久美子
寸虫に五分ある魂知りつつも白菜根切られ妻般若顔 澤田 勝登
求められ生かされてある吾がいのちみながみなと結はれいるに 清原 豊明
雲ほどけゆく秋空にゆうゆうと鳥の飛びて夕暮れていく 烏田 勝信

ま ちを元気に！
地域おこし協力隊

町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、さつまいも生産者協議会を担当する藤谷さゆりさんの活動報告です。

今年7月から「さつまいも生産者協議会」で活動している藤谷さゆりです。普段は町内にくつろぎのある協議会員のさつまいも畑を回り、作業の手伝いをしたり、栽培状況を確認したりしています。

着任後すぐに雨の多い季節となり、カッパを着て作業することになりました。しかし、作業を始めて1時間もしないうちに震えが止まらなくなり、カッパではなく、ヤッケといつて雨も風も防げないと言われてしまいました。結局その日は、畑の作業を手伝うどころか、私の作業服や道具を揃えるのを手伝ってもらったことになりました。

梅雨が明けると、連日猛暑が続く、車で日影を作って休憩所したり、差し入れのアイスクリームを



猛暑の中日々雑草と戦いました



収穫も順調に進んでいます

食べたりしながら、無農薬の畑に生える雑草と戦いました。大雨と日照不足のため、今年の生産量を心配していましたが、9月の試し掘りで大きなサツマイモが収穫でき、少し肩の荷が下りた気分です。冬にはさつまいもの加工品開発に取り掛かります。飯南町のさつまいもがたくさんの人に食べてもらえよう頑張ります。

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

コロナでも
密でもいいんだ
みんなの気持ち

志々小4年 黒田 格以さん
頓原中1年 黒田 若佐さん
家族名 黒田 加奈さん
標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやかに

10月届出分

新生児 届出人 地区
吉村 柚希 直 彬 (頓原)
藤原 慎太 直 城 (頓原)
森山 瑞生 雄 三 (上赤名)
田中 邑幸 稔 (敷波)
磯辺 陣 茜 (頓原)

やさしかに

10月届出分

お名前 親族 地区
景山 幹代 登巳夫 (花栗)
佐藤 宗頼 孝 志 (上赤名)
三嶋 マサエ 康 広 (佐見)
岩見 利夫 美 幸 (上赤名)
岡田 晴枝 宅 三 (赤名)
高橋 長年 昇 (長谷)
景山 ミヨコ 様 (94) 宏 俊 (川東)

今日の表紙

土鍋の蓋を開けた瞬間、もくもく立ちのぼる湯気。3人の「わあ」という声が響きました。
この日は「土鍋ごはん会」。「飯南の森の中で、飯南の新米を、土鍋で炊いて食べよう」という企画です。果たして、うまく炊けたのでしょうか。(2〜3Pに関連記事)

